

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |            |  |  |   |            |
|----------|------------|--|--|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号       | 現状における問題点、課題   | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 40<br>(19) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>入居者の重度化に伴い、食事介助を要する人が増えた。見た目にも美味しく、自分で食べたいという意欲が湧くような食事を提供していきたい。 | ①介助を要する人に対しては、多少時間がかかっても自分で食べることが出来るよう、食事形態を工夫する等の支援を続ける。<br>②自立している人に対しては、外食の機会を作る等して、食べる楽しみをもっと増やしてあげたい。 | ①食物の形状、食器の形や重さ、自助具の利用など、その時々の様子を見ながら臨機応変に対応する。<br>②イベント時だけでなく、外食の機会を定期的にする。まずは、2～3人の少人数から試していきたい。           | 3ヶ月        |
| 2        | 49<br>(22) | ○日常的な外出支援<br>外出の機会を出来るだけ作るよう心がけているが、車椅子の利用者が増えたこともあり、全員揃っての参加が困難になっている。              | 長時間の外出が難しい場合は、日光浴や車椅子で近隣を散歩するなど、入居者のADLの状態に応じて個別に対応する。お花見やスーパーへの買い物、ドライブ等は、今後も継続していきたい。                    | ①気候にもよるが、日光浴や近隣の散歩等を日課とし、外気に触れることで気分転換していただく。<br>②行き先や外出する人が決まって来ているが、今後も継続、維持していく。また、希望があれば、家族同伴で楽しむ機会も作る。 | 3ヶ月        |
| 3        |            |  |  |   | ヶ月         |
| 4        |            |  |  |   | ヶ月         |
| 5        |            |  |  |   | ヶ月         |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。